

## 各諸室の稼働率について

## 1. 現在の総合体育館の施設利用率について

現在の総合体育館の施設利用率について、平日/土日・祝日別、日中/夜間別の稼働率をみると、以下のような特徴があります。

- ・ 競技場、卓球場、柔道場、剣道場、弓道場については、曜日・時間帯によってばらつきはあるものの、いずれかの曜日・時間帯において90%以上が稼働しています。
- ・ 射撃場、ローラースケート場は、平日の稼働率は低いものの、土日・祝日は約75%の稼働率となっています。
- ・ 相撲場については、いずれの曜日・時間帯でも稼働率が低く（最も稼働率が高い土日・祝日の日中でも7.0%）となっています。

図表 団体利用でみた総合体育館の諸室ごとの稼働状況（曜日・時間帯別：平成21年度）

		平日		土日・祝日		合計
		日中	夜間	日中	夜間	
		9:00～18:00	18:30～21:30	9:00～18:00	18:30～21:30	
競技場	稼働率	71.8%	91.8%	96.1%	94.2%	84.1%
	利用件数	689	146	664	213	1,712
	利用可能件数	959	159	691	226	2,035
卓球場	稼働率	87.0%	77.9%	96.1%	-	86.4%
	利用件数	403	74	49	0	526
	利用可能件数	463	95	51	0	609
柔道場	稼働率	40.4%	91.2%	90.6%	88.9%	65.8%
	利用件数	275	208	318	104	905
	利用可能件数	680	228	351	117	1,376
剣道場	稼働率	58.8%	99.0%	79.3%	67.3%	71.3%
	利用件数	359	203	234	72	868
	利用可能件数	611	205	295	107	1,218
弓道場	稼働率	55.3%	59.6%	95.1%	70.7%	71.5%
	利用件数	215	90	331	82	718
	利用可能件数	389	151	348	116	1,004
射撃場	稼働率	0.0%	0.0%	74.4%	73.8%	16.7%
	利用件数	0	0	148	48	196
	利用可能件数	684	228	199	65	1,176
ローラースケート場	稼働率	10.2%	-	74.3%	-	21.1%
	利用件数	70	-	104	-	174
	利用可能件数	685	-	140	-	825
相撲場	稼働率	0.0%	-	7.0%	-	2.4%
	利用件数	0	-	64	-	64
	利用可能件数	1,760	-	910	-	2,670

※剣道場においては、剣道以外の種目（例：ヨガ、空手、古武道、ダンス、体操等）での利用も含まれます。

## 2. 区内の他の施設の利用状況

平成 22 年度に実施された基礎調査によれば、区内のスポーツ施設の稼働状況は、以下のような特徴があります。

- ・ 競技場については区内の 7 施設すべて、柔道場、剣道場については区内のほとんどの施設で導入されている諸室ですが、比較的どの体育館でも稼働率が高く、利用ニーズの高い諸室であるといえます。
- ・ 卓球場、弓道場、射撃場、ローラースケート場、相撲場については、他の施設にはない諸室となっています。

図表 団体利用でみた各施設の諸室ごとの稼働状況（平成 21 年度）

団体利用でみた各施設の諸室ごとの稼働状況（平成 21 年度）

		総合 体育館	桜台 体育館	上石神井 体育館	平和台 体育館	光が丘 体育館	大泉学園町 体育館	中村南 スポーツ交流 センター	合計
競技場	稼働率	84.1%	91.5%	85.4%	86.3%	96.1%	89.5%	62.4%	86.4%
	利用件数	1,712	764	1,098	340	3,461	1,113	967	9,455
	利用可能枠数	2,035	835	1,285	394	3,603	1,244	1,550	10,946
卓球場	稼働率	86.4%	-	-	-	-	-	-	-
	利用件数	526	-	-	-	-	-	-	-
	利用可能枠数	609	-	-	-	-	-	-	-
柔道場 (第一武道場)	稼働率	65.8%	74.1%	86.5%	72.9%	-	89.6%	85.5%	77.6%
	利用件数	905	821	709	94	-	441	833	3,803
	利用可能枠数	1,376	1,108	820	129	-	492	974	4,899
剣道場 (第二武道場)	稼働率	71.3%	86.7%	94.3%	84.2%	-	87.4%	*	82.1%
	利用枠数(件数)	868	605	574	123	-	402	*	2,572
	利用可能枠数	1,218	698	609	146	-	460	*	3,131
弓道場	稼働率	71.5%	-	-	-	-	-	-	-
	利用件数	718	-	-	-	-	-	-	-
	利用可能枠数	1,004	-	-	-	-	-	-	-
射撃場	稼働率	16.7%	-	-	-	-	-	-	-
	利用件数	196	-	-	-	-	-	-	-
	利用可能枠数	1,176	-	-	-	-	-	-	-
ローラースケート場	稼働率	21.1%	-	-	-	-	-	-	-
	利用件数	174	-	-	-	-	-	-	-
	利用可能枠数	825	-	-	-	-	-	-	-
相撲場	稼働率	2.4%	-	-	-	-	-	-	-
	利用件数	64	-	-	-	-	-	-	-
	利用可能枠数	2,670	-	-	-	-	-	-	-
合計	稼働率	47.3%	82.9%	87.7%	83.3%	96.1%	89.1%	71.3%	69.3%
	利用件数	5,163	2,190	2,381	557	3,461	1,956	1,800	17,508
	利用可能枠数	10,913	2,641	2,714	669	3,603	2,196	2,524	25,260

※ 中村南スポーツ交流センターは、1 つの「武道場」が柔道及び剣道の利用に供している。中村南スポーツ交流センターの「柔道」における数値は、「武道場」として、これらを合算した数字である。

### 3. 新しい総合体育館において整備する諸室の考え方

以上のとおり、現状の総合体育館の諸室の稼働状況と、他の区内施設の諸室の稼働状況をふまえ、新しい総合体育館に備えるべき諸室の方向性を以下のように検討しました。

- ・ 競技場の稼働率は常に高く、他の区内施設でも同様に高い稼働率を維持しているため、新しい総合体育館でも面積の拡大等が見込まれます。
- ・ 卓球場の稼働率は常に高く、他の区立施設には無い、卓球の専用諸室として利用者に定着していると考えられます。
- ・ 柔道場、剣道場、弓道場については、稼働率が90%を超える曜日・時間帯があり、現状維持が妥当であると考えられますが、稼働率が低い曜日・時間帯もあることをふまえ、運営面等において利用を促進する工夫（例：スポーツ教室の開催、多様な種目への対応）が必要であると考えられます。
- ・ 射撃場、ローラースケート場については、土日・祝日のみ約75%の稼働率がありますが、平日の稼働率は非常に低くなっており、前述のような運営面等において利用を促進する工夫、場合によっては規模の縮小も検討できます。ただし、ローラースケート場は都の大会や東日本の大会で利用されている等、稼働率以外の面から見た諸室の重要性についても十分に考慮する必要があります。
- ・ 相撲場については平日/土日・祝日ともに非常に低い稼働率であり、区に唯一の施設ではありますが、新しい体育館でも導入すべきかどうかは改めて検討する必要があります。